AgileWorks

AgileWorks R2/R3

Windows アプリケーション版
FlowEditor
インストールガイド

(2026/07/15)

ATLED

目次／索引

1. はじめに 4
1.1. ドキュメントの目的 4
1.2. 対象バージョン 4
1.3. 前提 4
2. インストール 5
2.1. インストール手順 5
2.2. 起動確認 9
2.3. 起動しないときは 11
3. アンインストール 12
3.1. アンインストール手順 12
3.2. アンインストール後の FlowEditor 利用方法 13
4. アップデート 13

◆ 改版履歴

版数	年月日	改版内容
第 1 版	2023 年 08 月 04 日	第 1 版作成
第 2 版	2024 年 02 月 27 日	「対象バージョン」を修正
第 3 版	2024 年 11 月 29 日	「対象バージョン」を修正
第 4 版	2024 年 12 月 16 日	「インストール手順」に 「LibericaJDK の優先度の確認と変更」を追記
第 5 版	2026 年 01 月 28 日	「対象バージョン」を修正
第 6 版	2026 年 03 月 31 日	バージョン 1.0.3 リリースに伴い修正
第 7 版	2026 年 05 月 21 日	「対象バージョン」「インストール手順」を修正 「アップデート」章を追加 R2 と R3 のマニュアルを統合
第 8 版	2026 年 07 月 15 日	バージョン 1.0.4 リリースに伴い修正

1. はじめに

1.1. ドキュメントの目的

本書では AgileWorks にて回付ルールを作成するツールである FlowEditor の Windows アプリケーション版をインストールする方法について説明します。

1.2. 対象バージョン

以下の環境でのみ動作を保証します。

	バージョン
AgileWorks	R2.11、R2.12、R2.13、R3.0、R3.1、R3.2、R3.3
Windows アプリケーション版 FlowEditor	1.0.4
利用端末の OS	Windows 11 ※Windows 10 (64bit / 32bit) AgileWorks のバージョンが動作保証している OS を 利用してください
利用端末上の Java	Liberica JDK 11.0.x ※Windows アプリケーション版 FlowEditor に 同梱されているモジュールのみ ※インストール手順は本書にて記載されています

※1.0.3 以前のバージョンを利用している場合は最新版(1.0.4)へのアップデートを行ってください。
アップデート方法は「4.アップデート」をご確認ください。

※インストールされている FlowEditor のバージョンは、
以下ファイルをエディタで開くことで確認可能です。
{FlowEditor インストールディレクトリ}/resources/app.asar

例)
"version": "1.0.4",

1.3. 前提

Windows アプリケーション版 FlowEditor をインストールすると、jnlp ファイルの既定のプログラムが FlowEditor に固定されるなど、留意事項がございます。
インストール前に以下のマニュアルを必ずご確認ください。

・Aw00-動作環境とモジュール構成 > クライアント動作環境（管理サイト）

2. インストール

2.1. インストール手順

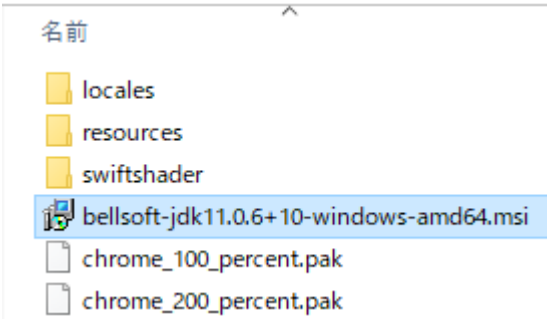
1. モジュールの配置
   サポートサイト ＞ ダウンロードページより、利用している OS に合ったモジュールをダウンロードし、インストールするディレクトリに配置します。

   ・64bit OS の場合：FlowEditor-1.0.4-win.zip

2. モジュールの解凍
   Windows の圧縮ツールにてモジュールを解凍します

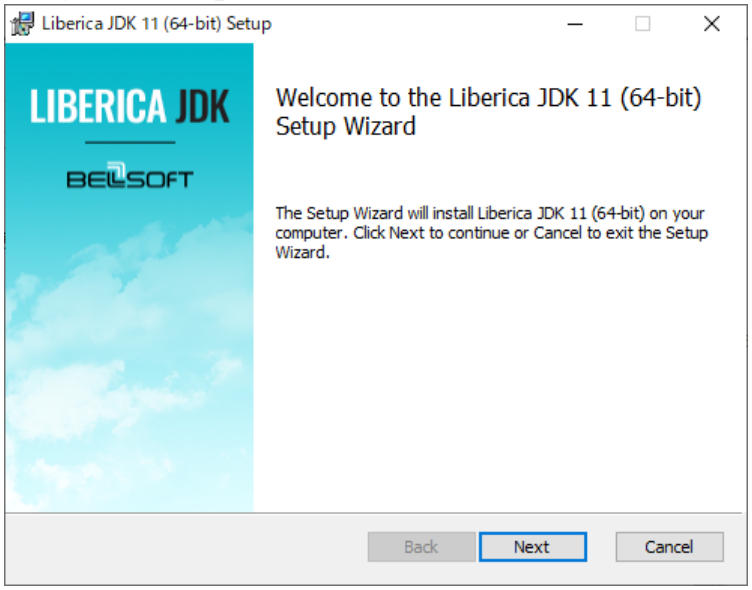
   解凍後、生成されたフォルダ「FlowEditor-1.0.4-win」が Windows アプリケーション版 FlowEditor のインストールディレクトリです。

3. JDK のインストール
   インストールディレクトリ内の「bellsoft-jdk11.0.6+10-windows-amd64.msi」
   または「bellsoft-jdk11.0.6+10-windows-i586.msi」を実行します。
   （.msi ファイルを右クリック ＞ インストール）
   管理者権限を持っているユーザーで実行してください。

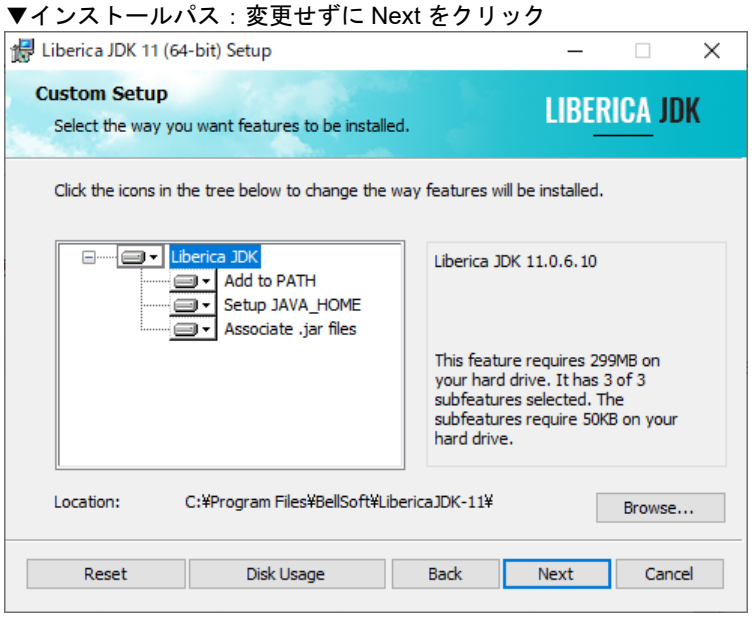


以下、64bit OS での画面例です。

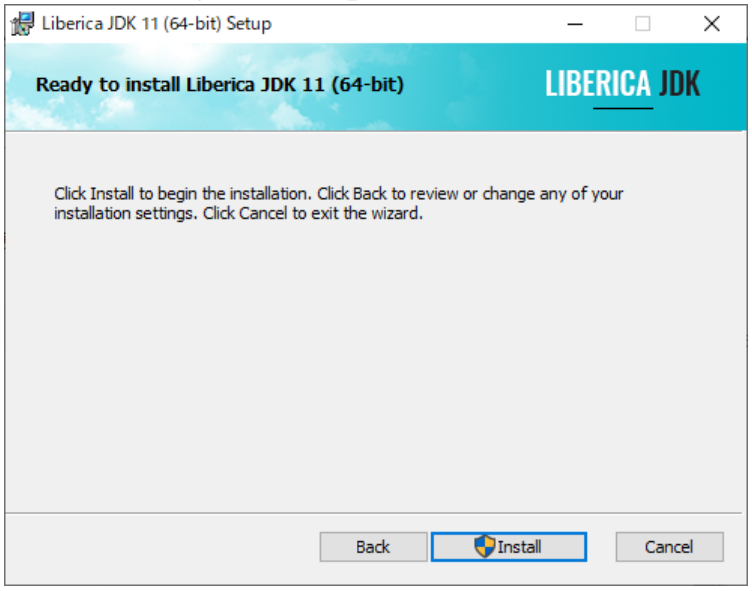
▼起動画面：Next をクリック



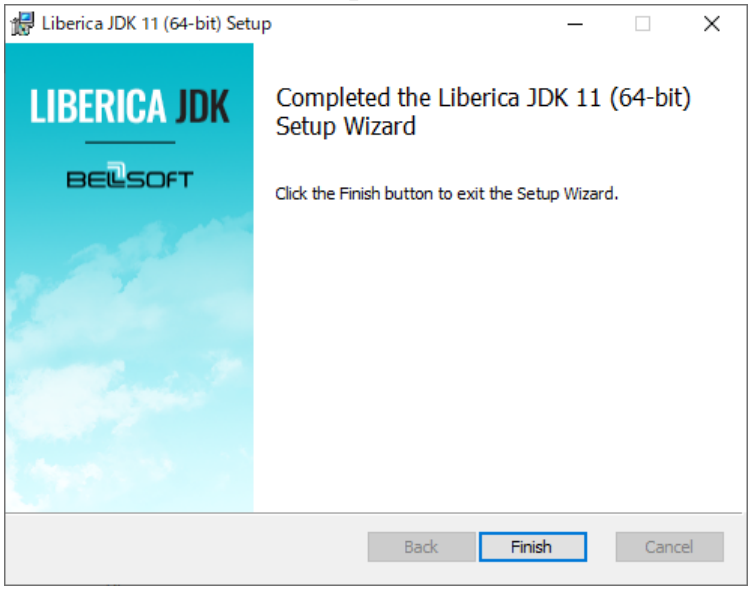
▼インストールパス：変更せずに Next をクリック



▼インストールの実行：Install をクリック

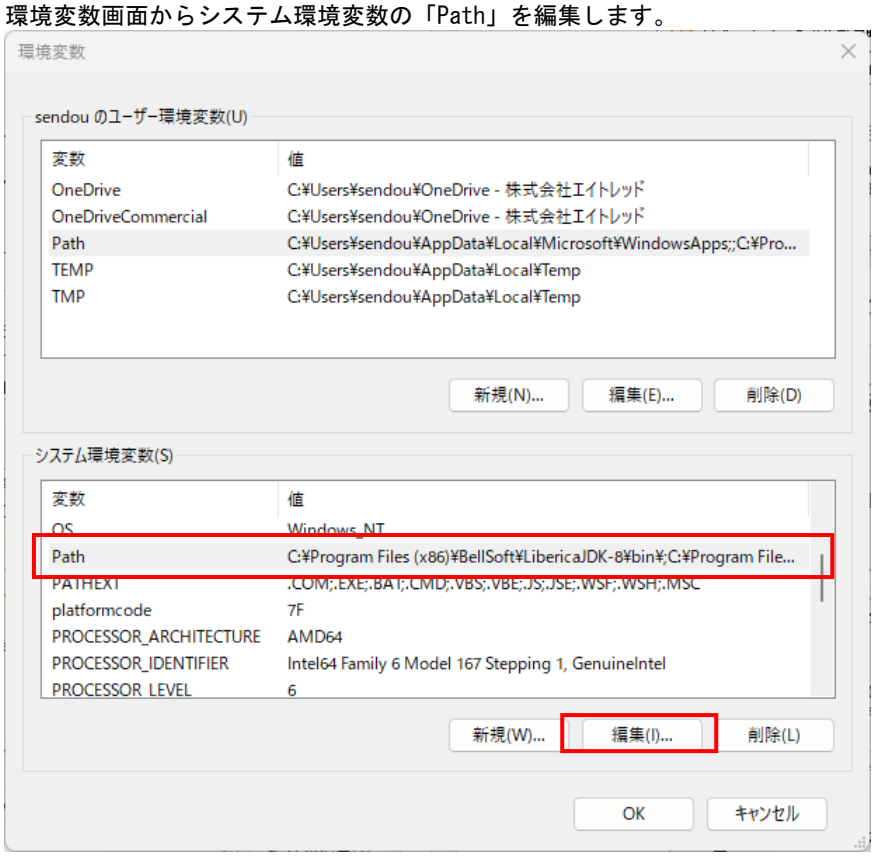


▼インストールの完了：Finish をクリック

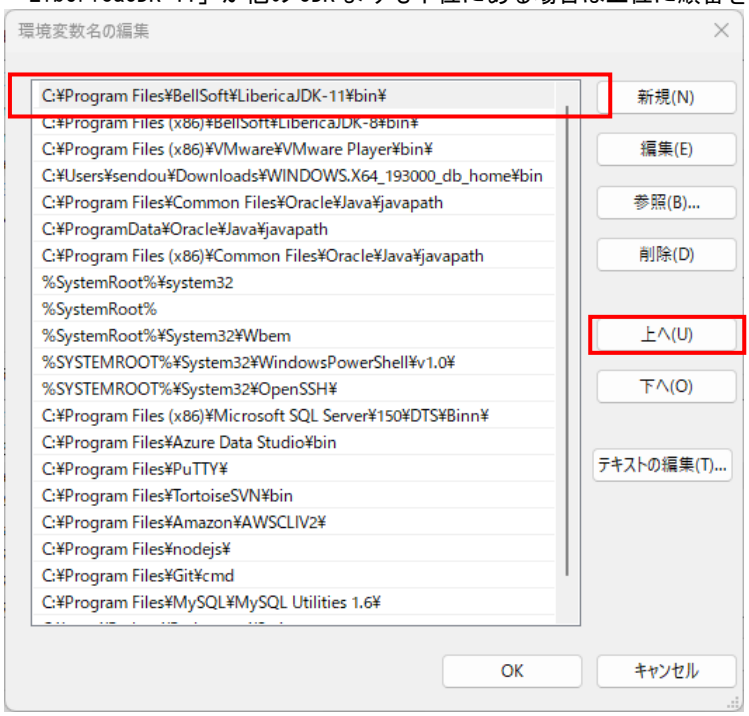


4. LibericaJDK の優先度の確認と変更
利用端末に他バージョンの LibericaJDK がインストールされている場合、Windows アプリケーション版 FlowEditor で利用する「LibericaJDK-11」の優先順位を上位にする必要があります。

環境変数画面からシステム環境変数の「Path」を編集します。



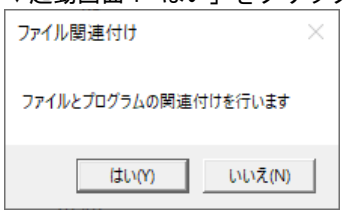
「LibericaJDK-11」が他の JDK よりも下位にある場合は上位に順番を入れ替えて「OK」で保存します。



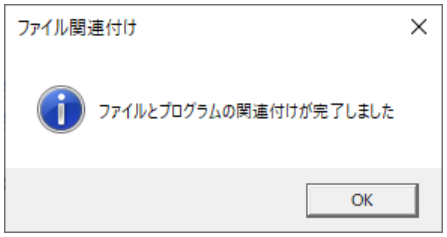
※この手順は FlowEditor のインストール時に限らず、「LibericaJDK」をインストールした場合は必ず実施してください。

5. jnlp ファイルと Windows アプリケーション版 FlowEditor の関連付け
Windows アプリケーション版 FlowEditor のインストールディレクトリ内の「setup.vbs」を実行します。
「ファイルとプログラムの関連付けが完了しました」と表示されたら完了です。

▼起動画面：「はい」をクリック



▼完了画面：「OK」をクリック



6. 利用端末の再起動
利用端末の OS を再起動して Windows アプリケーション版 FlowEditor のインストールは完了です。

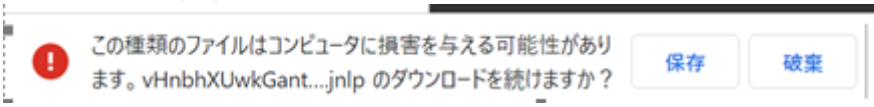
2.2. 起動確認

AgileWorks の管理サイトへログインし、回付ルール管理より任意の回付ルールを開きます。
※「新規」ボタン、または既存の回付ルールを選択した状態で「編集 > 回付ルール修正」

上記操作を行うと、jnlp ファイルがダウンロードされます。
この際の動作は利用しているブラウザによって異なります。
以下、各ブラウザの動作となりますので、ご確認ください。

Chrome の場合

ブラウザ下部に jnlp ファイルのダウンロード確認ダイアログが表示されますので、「保存」を選択します。

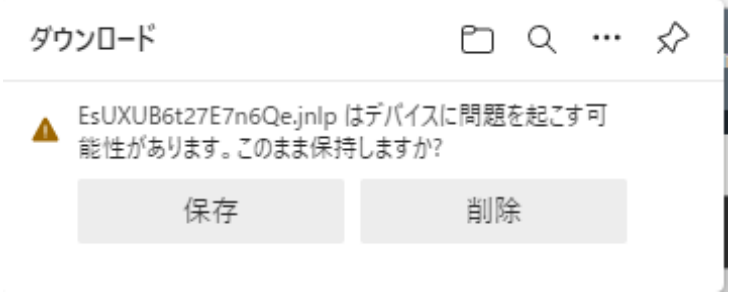


保存後、jnlp ファイルを選択します。



edge の場合

ブラウザ下部に以下のダイアログが表示されますので、「開く」を選択します。



FireFox の場合

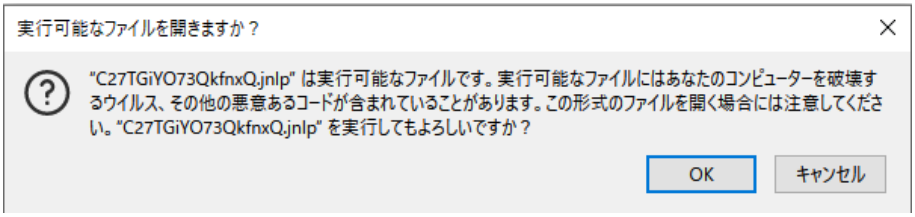
以下のポップアップが表示されますので、「ファイルを保存」を選択します。
※「ファイルを保存」はポップアップ表示後、暫く経過した後に選択できるようになります。



ダウンロードが完了すると、ブラウザの右上のダウンロードボタンから jnlp ファイルを選択します。



以下のダイアログが表示されますので、「OK」を選択します。



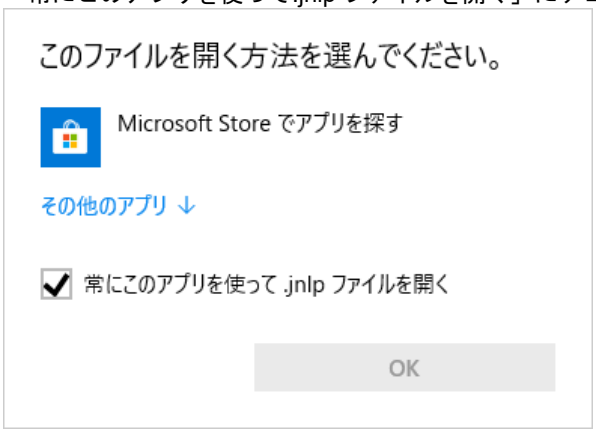
2.3. 起動しないときは

jnlp ファイルが Windows アプリケーション版 FlowEditor に関連付いているかどうかを確認します。

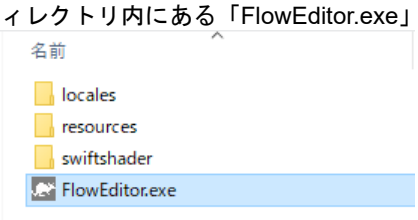
1. 回付ルール管理から任意の回付ルールをダブルクリックし、jnlp ファイルをダウンロードしてください。
その際にファイルを「開く」のではなく、ファイルを「保存」します。

2. ダウンロードフォルダを開き、jnlp ファイルを右クリックし、以下のように選択します。
「プログラムから開く ＞ 別のプログラムを選択」

3. 「常にこのアプリを使って.jnlp ファイルを開く」にチェックします。



4. 「その他のアプリ ＞ この PC で別のアプリを探す」から Windows アプリケーション版 FlowEditor のインストールディレクトリ内にある「FlowEditor.exe」を選択します。



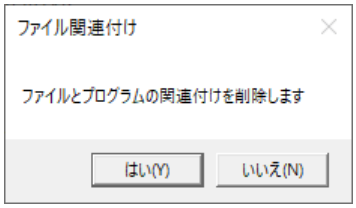
上記手順を行っても Windows アプリケーション版 FlowEditor が起動しない場合は、サポートまでお問い合わせください。

3. アンインストール

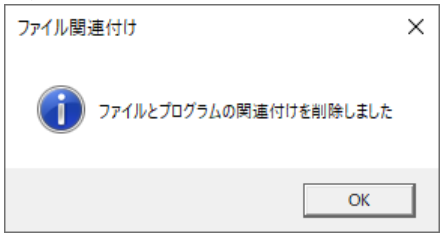
3.1. アンインストール手順

1. jnlp ファイルと Windows アプリケーション版 FlowEditor の関連付けを削除する
   Windows アプリケーション版 FlowEditor のインストールディレクトリ内の「uninstall.vbs」を実行します。
   「ファイルとプログラムの関連付けを削除しました」と表示されたら完了です。

   ▼起動画面

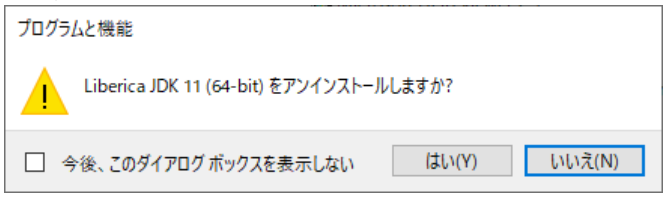
   ▼完了画面

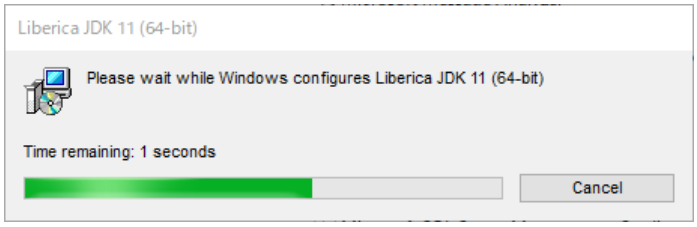
2. Windows アプリケーション版 FlowEditor 用にインストールした Liberica JDK のアンインストール
   「コントロールパネル > プログラムと機能」にて「Liberica JDK」を選択し、アンインストールします。

   ▼確認画面

   ▼進捗画面

   アンインストールが完了すると自動的にウィンドウが閉じます。

3. インストールディレクトリの削除と利用端末の再起動
   Windows アプリケーション版 FlowEditor のインストールディレクトリを削除と利用端末の OS を再起動を行い、Windows アプリケーション版 FlowEditor のアンインストールが完了です。

3.2. アンインストール後の FlowEditor 利用方法

Windows アプリケーション版 FlowEditor をアンインストール後も、Oracle JDK 8 をインストールすることで JavaWebStart 版 FlowEditor が利用可能です。
また、再度 Windows アプリケーション版 FlowEditor をインストールすることも可能です。

Windows アプリケーション版 FlowEditor をアンインストール後、JavaWebStart 版 FlowEditor が起動しない場合はサポートまでお問い合わせください。

4. アップデート

Windows アプリケーション版 FlowEditor のアップデートは、
旧バージョンのアンインストール→新バージョンの再インストールにて行ってください。